

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23024
事業名	少年健全育成推進費					
評価担当課	所属名	子)子ども育成 子どもの権利推				
	課長名	山縣 浩子	担当者名	福司 明香	電話番号	211-2942
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理					
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input checked="" type="radio"/> その他				
	目的	短期	青少年健全育成事業の実施、青少年の非行防止活動、子どもの安全確保の取組、青少年を取り巻く有害環境の排除等。			
		長期	学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちにとって健全な環境づくりを進めるため。			
	取組内容	青少年の非行防止、子どもの安全確保、青少年を取り巻く有害環境の排除など、学校・家庭・地域が連携し、子どもの育ちにとって健全な環境づくりを進める。 ①子ども未来局(心豊かな青少年をはぐむ札幌市民運動、札幌市青少年育成大会等) ②各区の健全育成業務(中学校区青少年健全育成推進会に対する補助、札幌市青少年育成委員会活動交付金など)				
	実施結果	令和3年度「青少年を見守る店」登録店(5738店舗) 有害図書類、カラオケボックス等立入調査(205件)				
事業実施における工夫点	各地区育成委員会への交付金基準について、平成29年度から、より子ども人口を考慮した基準に見直した。					
対象者	青少年、育成者	開始	昭和60年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市青少年育成委員会規則(昭和60年規則第46号)					
他都市の状況	札幌市青少年育成委員会は、上記規則によって設置されている札幌市独自の団体であるが、横浜市(青少年指導員、2,700人)など、他の政令指定都市においても類似の事業が行われている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	22,784	42,863	22,416	44,063	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	3.2	3.1	3.1	3.1	
人件費	23,040	22,320	22,320	22,320	
計(事業費+人件費)	45,824	65,183	44,736	66,383	
事業費の内訳	令和3年度決算	①青少年健全育成に係る啓発・広報:2023千円 ②札幌市青少年育成大会:205千円 ③青少年育成委員会活動交付金等:12852千円 ④中学校区青少年健全育成推進会補助:3629千円			
	令和4年度予算	①青少年健全育成に係る啓発・広報:3059千円 ②札幌市青少年育成大会:1287千円 ③青少年育成委員会活動交付金等:27000千円 ④中学校区青少年健全育成推進会補助:5760千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	青少年育成委員会(90地区)活動交付金執行率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	98%	98%	98%	100%	
活動指標2	指標名	青少年を見守る店登録数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5829	5950	5738	5950	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	「青少年を見守る店」は令和3年度において143店が新規に登録されており、地域における子どもを見守るネットワークづくりに貢献している。また、令和3年度青少年育成大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、各区役所で優良青少年等表彰を実施するなど、引き続き事業を通して、地域における青少年の健全育成の推進に寄与している。青少年育成委員会については、各地域での活発な活動を通して、青少年の健全育成の推進に寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	地域における子どもを見守る取組等に対し、他の政令市においても類似組織に補助金等を支出している例があり、地域で青少年の健全育成を推進するうえで妥当な事業水準であると考ええる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	家庭・地域・学校が相互に協力しながら、青少年の健全育成を地域ぐるみで実施することにより、子どもの育ちにとって健全な環境づくりの推進を協働で推進できることから、当該事業を効果的かつ効率的に進められる点で適切な実施手法であると考ええる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため活動が制限されたこともあったが、少年健全育成推進事業は、子どもの安全確保、青少年を取り巻く有害環境の排除など市民のニーズに応えているものになっていると考ええる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	当該事業を通して、地域における青少年の健全育成の推進に寄与しているものの、青少年を取り巻く環境の複雑・多様化に対応するため、随時、社会状況等に応じ、事業実施手法等の見直しを実施していく必要があるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 関係機関・団体、地域住民等の青少年健全育成に対する共通の理解と認識を深め、幅広い参加を促していく。また、事業規模は現状を維持しつつ、他の事業との連携や関係機関との連携強化を進め、事業の有効性を高めていく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 現状の事業規模を維持しつつ、予算の効率的な執行に努める。		見直し効果額	0 千円